

# 2006年 スギ・ヒノキ科花粉飛散情報

## スギ花粉前線 予測図

- ① 花粉飛散量は全国的に少なめ
- ② 飛散開始は若干遅め



### 【飛散量の予測】

2005年夏の気象データおよび秋のスギ雄花の着花状況調査結果から2006年春のスギ・ヒノキ科花粉飛散量は中部・北陸地方の一部で平年を若干上回る他は平年の4割～平年並みと予測されます。

### 【飛散開始時期の予測】

気象庁の3カ月予報からスギ花粉の飛散開始時期は平年並みか若干遅れると予測されます。

2005年のスギ・ヒノキ科花粉飛散量は、過去数十年で最も多い大飛散となりました。これは2003年の冷夏後に2004年の夏が猛暑という気象条件が重なったことが主な原因であると考えられます。大飛散の翌年である2006年は木の疲弊が回復していないため、飛散量は少なくなると考えられますが、予測される飛散量は花粉症患者が増加しはじめていた20年前の平年並みと同程度であり、症状が強い花粉症患者さんは注意が必要です。



東邦大学薬学部 教授  
佐橋 紀男 先生